

麻酔科がパワーアップ！安全・安心な手術を支えます

当院の麻酔科は、手術を安全かつ円滑に進めるために欠かせない存在です。現在、麻酔科医が全身麻酔を担当し、診療看護師や臨床工学技士と協力しながら麻酔管理を行っています。

そして令和7年4月、新たに麻酔科医が1名加わりました。これにより、より充実した麻酔管理が可能となり、手術を受ける患者さんにとって、さらに安心できる体制が整います。

麻酔は、単に手術中の痛みを取るだけでなく、患者さんの全身状態を細かく管理する重要な役割を担っています。当院では、チーム医療を推進し、専門技術と細やかなケアで、安全・安心な手術を提供してまいります。



人工呼吸管理で緊張感が漂う中、連携して手術麻酔管理を行います。
右から藤田麻酔科医師、川島診療看護師、鈴木臨床工学技士、伊藤臨床工学技士。

各診療科別 主な手術件数

	特に力を入れている手術(処置)	令和6年度実績
循環器内科	PCI(経皮的冠動脈インターベンション)	27件
	EVT(血管内カテーテル治療)	21件
消化器・一般外科 ※腹腔鏡下手術率100%	腹腔鏡下胃悪性腫瘍	4件
	腹腔鏡下大腸悪性腫瘍	27件
心臓血管外科	腹部大動脈瘤手術(①ステントグラフト、②人工血管置換術)	①24件、②2件
	下肢静脈瘤手術(①血管内塞栓術、②血管内焼灼術)	①21件、②5件
整形外科	人工膝関節置換術	37件
	肩関節鏡手術	46件
泌尿器科	内視鏡下尿管結石碎石術	29件
	内視鏡下前立腺レーザー蒸散術	30件

医療機関向け 地域医療連携ネットワークシステム MIDORIネットのご案内

MIDORIネットとは

当院の電子カルテと地域医療機関のパソコンをインターネットで結び、登録医療機関の先生方に当院における患者さんの診療情報を提供するシステムです。

MIDORIネットの機能

① 外来診察・検査のオンライン予約

外来診察枠や検査枠をオープンにしており、診療科の診察や検査予約を直接、お取りいただけます。

② 診療情報の共有

患者さんの同意をいただき、カルテ情報や画像情報といった診療情報の閲覧が可能となります。

令和6年4月からMIDORIネットを導入いたしました。予約の利便性を向上させ、患者さんの情報を共有することにより、地域全体で医療サービスを提供していきたいと考えております。MIDORIネット接続のお手続きに関しましては、順次、進めておりますので、地域医療連携センターのスタッフにお申しつけください。

お問い合わせ 地域医療連携センター直通 TEL 052-892-1334 [平日 8:45 ~ 17:15]

お知らせ 公式Instagram始めました。右記QRよりぜひご覧ください▶▶▶
各種イベントのご案内や行事食のご紹介はもちろん、疾患の話などお役立ち情報も!

発行元 名古屋市立大学 医学部附属 みどり市民病院 広報委員会

名古屋市緑区潮見が丘一丁目77番地
TEL 052-892-1331 [代表]



公式 WEBサイト



@MIDORI_NCU_OFFICIAL

MIDORI REBORN



写真上:リニューアルされた内視鏡室 下:内視鏡室スタッフ

Contents

P1 MESSAGE

- MIDORI REBORN 2.0
ー地域の唯一無二を目指してー
- みどり市民病院の移転計画について

P2 TOPICS

- 内視鏡室がリニューアルされました
- 二次救急医療体制のさらなる強化に向けて

P3 INFORMATION

- 麻酔科がパワーアップ!
- 各診療科別 主な手術件数
- MIDORIネットのご案内



名古屋市立大学
医学部附属

みどり市民病院

NAGOYA CITY UNIVERSITY MIDORI MUNICIPAL HOSPITAL

MIDORI REBORN 2.0 ー地域の唯一無二を目指してー

名市大みどり市民病院は“地域の幸せな健康未来創造”を皆さまとの約束とし、その実現のため地域の医療ニーズに丁寧に向き合い安全で先進的な医療と安心の治し支える医療の両立に開院時より努めております。

旧緑市民病院時代の医療を深化させ急性期から回復期までをワンストップで提供する地域貢献型大学病院として、少しずつではございますが皆さまにお応えできるようになってまいりました。令和6年度は平均在院日数短縮、DPC係数向上やロボット支援手術・大動脈瘤ステント治療など低侵襲手技を中心に初年度比153%の手術件数など医療の質・量ともに伸展いたしております。

地域公的病院として重点項目の救急・感染症対応では、初年度比129%で2,200件超となる救急応需や愛知県第一種及び第二種協力指定医療機関として流行時10床の感染病床運用及び地域高齢者施設での感染対策ネットワーク(Midori Silver Link Network)等を実施してまいりました。

一方、地域特性も踏まえ更に増大する高齢者の急性期・救急医療への一層の貢献が今後の課題と考えます。令和7年度は常勤麻酔医増員、内視鏡室及び血管撮影室再整備により医療の質・量のさらなる向上を目指します。高齢者特有の多疾患併存状態や入院加療に伴う日常生活能力の低下に対し、より厚い入退院支援や低侵襲医療など包括かつ先進的な治療システムを積極的に実施してまいります。

関連医療機関の皆さまのご理解や行政の承認をいただいた新病院整備では、22世紀型医療システム構築を核心に名古屋市とも協働し災害時にも自律的地域医療支援が可能な機能や規模を実現したいと考えております。

全職員の相互信頼と尊敬の涵養をもとに、3年目となる名市大みどり市民病院は地域にとって唯一無二の存在を目指し新たな成長に臨みます。何卒、ご支援よろしく願いいたします。



みどり市民病院 病院長

浅野 實樹

Miki Asano

みどり市民病院の移転計画について



当院は名古屋市指定管理者制度による民間医療法人の運営から令和5年4月名古屋市立大学が運営を引き継ぎ「医学部附属みどり市民病院」として生まれ変わりました。

大学による新たな運営が始まったものの、従前の建物を引き続き活用しているため、最も古い病棟では55年以上経過しています。安全で質の高い医療を提供すべく適切な保守修繕を加えながらの診療ではございますが、一層の医療の質の向上を目指し名鉄鳴海駅前に新病院(現在より45床増の250床)整備により地域医療にさらなる貢献をしていきたいと考えております。

今後計画を進めるにあたり近隣の皆さまには何かとご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解ご協力の程よろしく願いいたします。

内視鏡室がリニューアルされました

病院内再整備計画の一環として令和7年3月に内視鏡室の改修(前処置室、内視鏡検査室、リカバリー室整備)が完了いたしました。

前処置室整備により検査の流れがスムーズになり、より多くの方に検査を受けていただくことが可能となりました。検査室は広いスペースと共に内装も暖かみがある雰囲気により一新され、リラックスできる環境で安心して内視鏡検査や治療を受けていただけます。従来、鎮静内視鏡検査後には内科外来まで移動していただく必要がありましたが、隣接するリカバリー室での経過観察を可能とし、ご負担を軽減していただけます。

今年度から最新の経鼻内視鏡が3本体制となり、全ての方に苦痛の少ない経鼻内視鏡を選択していただくことが可能となります。

上部内視鏡検査は共同利用可能ですので、お気軽にご相談いただければ幸いです。



AI内視鏡

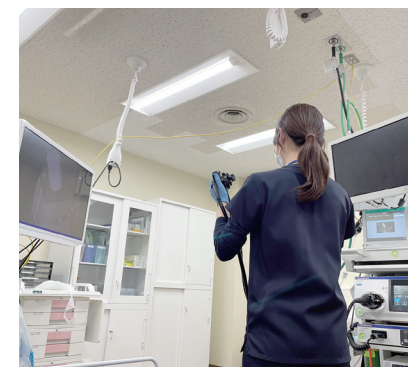
AI(人工知能)による診断支援システムを用いて、ポリープなどの病変を自動検出するAI内視鏡により精度の高い検査が可能です。



前処置室・リカバリー室



検査室



検査風景

年度	上部内視鏡	下部内視鏡	大腸ポリープ 切除術	内視鏡的粘膜下層 剥離術(ESD)	胆膵内視鏡 (ERCP、EUS)	気管支鏡
令和5年度	1,008件	608件	136件	24件	78件	37件
令和6年度	1,259件	829件	245件	16件	84件	31件

二次救急医療体制のさらなる強化に向けて

開院して2年、一貫して救急医療の体制強化に取り組んできました。初年度1,733台の救急応需は、救急外来のリニューアルにともなう初療室の増加等で令和6年度2,232台となりました。陰圧室等の整備で感染症対応もさらに強化し、インフルエンザやCOVID-19流行期にも十分な対応が可能となっております。

また、プレホスピタル・ケアの向上にも貢献できるよう、今年2月に名古屋市メディカルコントロール協議会に加入しました。今後、二次救急レベルの中でより重症な患者の対応にも注力していきます。地域に貢献する大学病院として、地域医療機関の皆さまとの連携のもとより良い医療の提供を目指していきます。

